

「農業大好き！！達成感抜群」

浅野 奈緒美 (46 歳)
(今治市)

新規参入



1 就農の動機・理由

町中で育ち、農業とは程遠い生活の中で、子供のころ友達と山に行っては探検したり、祖母と畑で大根を取った思い出があり、いつか農業をやってみたくてずっと思っていた。事務仕事をしている中で、年齢的にもやりたいことは今のうちにやっておきたいと思い、農業の求人を探したところ、たまたま見つけ思い切って農業の世界に入った。

2 農業経営の概要

○経営の展開

| 項目 | 就農時の経営 (令和4年) | 現在の経営 (令和5年) | 将来の経営 (令和10年) |
|------|-----------------------------------|--|--|
| 労働力 | 女1人(本人) | 女1人(本人) | 男1人(夫) 女1人(本人) |
| 経営耕地 | 水田 60 a | 水田 150 a | 水田 325 a |
| 経営内容 | さといも 15a きゅうり 20a ブロッコリー45a | さといも 15a きゅうり 5a ブロッコリー45a キャベツ 70a | さといも 100a きゅうり 5a ブロッコリー20a キャベツ 200a |

○農業用施設

作業場 1棟(賃借)

○主要農業機械

トラクター 1台
畦立て機 1台
芋堀機 1台
一輪管理機 1台
運搬車 3台

エンジンポンプ 1台
動噴 1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地 愛媛県今治市
職歴 事務/営業 13年
農業法人勤務 4年
就農研修歴
農業法人 (H30.7~R4.3)
農の雇用事業活用 (R2.4~R4.3)
就農年月 令和4年4月

(2) 就農時の思い

今もそうだが、やる気に満ち溢れていた。とにかく楽しく、一つ一つの達成感がうれしくてたまらなかった。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

農業法人できゅうり・さといも・キャベツ・ブロッコリーを研修していたので、学んだことをそのまま実践しています。疑問に思ったことは、先輩達にすぐに聞いたり、自分で調べたりした。

(2) 資金の準備

経営発展支援事業や経営開始資金を活用した。当資金が活用できるまでは自己負担でのいだ。トラクターなどの機械も一切なかったので、師匠にお借り(リース)し、経営をスタートした。

(3) 農地・住宅の確保

全く農地を所有していなかったが、

独立するまでに農業仲間や相談できる人と繋がりができ、農地は次々と無償で借りることができた。作業場は師匠の敷地内にある大きな倉庫を借りることができ（電気・地下水あり）、機械・肥料置き場、作業スペースが確保できたために、とても助かった。

住居は市街地にあり、毎日通勤農業をしている。

(4) その他苦労したこと

資材を全く所有しておらず、肥料や苗代は収穫よりも先払いとなるので、経営が回り出すまでの1年間は必死だった。

また、一人農業なので、とにかく効率を求めて、仕事をいかにこなすかを常に考えて実践した。

5 農業経営の特徴

現在は年間を通して常に出荷するために、品目を絞り、管理が行き渡るようにしている。

将来的には冬野菜を中心に経営していきたいと思っている。

6 これからの夢

数年後には規模を拡大し、主人と経営していきたいと考えている。

農業人口が減っている中、生きていく中で一番大切な”食”、そして自然豊かな地域を自分なりに守っていきたく思っている。

7 成功したキーポイント

自分の考えだけで農業をするのではなく、教えてもらったことをまずやってみる。そこから自分の考える技術などを足していくことで経営を軌道にのせることができた。

見本となる先輩たちの意見をよく聞くことが大切。特に機械は自分の考えだけで買わず、アドバイスをもらってから購入することが重要だと感じている。

また、農業仲間・集落の人・指導員との輪を大切にすることで、多くの情報を得ることができている。

8 就農を目指す方へのアドバイス

農業は自分の思うようにできるところが良い点ですが、まずは、真似るところから始めるといいと思います。一生懸命やっていたら、農業仲間や集落の人・指導員は必ず助けてくれるので、繋がりを大切にしてください。

また、独立前に皆さんと繋がっておけるといいと思います。

○ 指導機関からのひとこと

就農後、積極的に地域の農業者や指導員等とコミュニケーションをとって技術や情報を収集し、経営に生かしている姿は、これから農業を目指す新規就農者の模範となっています。今後の活躍も期待しています。

執筆機関

今治支局地域農業育成室

電話番号 0898-23-2570



ブロッコリーの収穫作業